

事業見直しと 借金で予算捻出

平成21年第1回定例会が2月25日から3月18日まで、22日間の日程で開催されました。3月定例会は予算議会であり、平成21年度当初予算をはじめ、町長提出の31議案と、議員定数を削減する条例改正をはじめ、議員提出の4議案と意見書案1件を審査しました。採決の結果は5ページの一覧表をご覧ください。

平成21年度当初予算決まる

一般会計

不況による法人町民税などの減収が深刻な状況で、総額97億851万円の予算を編成するため、町長は財政調整基金の思い切った取崩しとともに5億円の臨時財政対策債の発行に踏み切りました。

また歳出では、子どもの医療費助成や妊婦の無料健診の拡大、学校体育館の耐震補強工事などを進める一方で、各種団体補助金の10%カットや、総額1億円以上にのぼる事業費削減を断行しました。

反対

中川雅夫議員

町長が決断した財政調整基金の取崩しと臨時財政対策債の増発を基本的に支持

する。しかし、児童館有料化、図書費半減、雇用対策皆無など納得できず、補助金の一律カットや窓口センター廃止も反対。

賛成

近藤秀樹議員

町税大減収の中、歳出の徹底的見直しを行いつつ、東中体育館の耐震化や子育て支援、お年寄りの「思い出の語り場作り」事業など、住民が望む事業に予算計上しており、評価できる。

反対

山口洋子議員

住民の要求は地域工といいきれない。行政はそこから町づくり全般を考へることが大切。図書費を削ることは精神面の健康をおろそかにしていないか。

賛成

石川 正議員

厳しい財政情勢の中、町民に我慢を強いる予算である。決して十分ではないが、子育て支援、農学校の開設、コミュニティ活性化事業の増額など評価できる。

賛成

井俣憲治議員

今は耐え忍ぶ、我慢の時と考へる。苦しい財政事情であるからこそ、本当に必要な施策に予算計上されている。

国民健康保険 特別会計

特別会計

予算規模は昨年度実績をベースにして、12.5%減額の29億496万円としました。国保税率の改定はありません。

反対

門原武志議員

新年度は被保険者が増えるのに医療給付費が減る。その分は国保税を減税すべきだ。国保の特定健診で受診率向上のためにも自己負担はなくせ。

東郷診療所 特別会計

特別会計

予算規模は昨年度とほぼ同等の1億6984万円としました。一般会計から250万円の繰入金があります。

反対

山口洋子議員

予算編成には苦労した跡も見えらるが、これからどういふ医療がしたいか等の方策は示されなかつた。